

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	三浦ふれあいの村		
所在地	三浦市初声町和田3136番地		
サイトURL	http://www.yokohamaymca.org/fureai/index.html		
根拠条例	神奈川県立のふれあいの村条例		
設置目的(設置時期)	児童、生徒、青少年等が自然の中での体験及び人との交流を通じて自立心、協調性等をはぐくむための活動を促進すること (平成7年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 横浜YMCA		
指定期間	H23. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	子ども教育支援課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>◆管理運営等の状況 施設・設備の維持管理を適切に実施するとともに、主催事業・自主事業を計画どおり実施し、参加者から好評を得た。</p> <p>◆利用状況 ホームページや広報誌等の広報活動に積極的に取り組んだ結果、目標対比で 0.7%のマイナス、前年対比では 0.6%のプラスとなったため、B評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者が施設を利用する都度、調査を実施したところ、上位2段階の回答割合が 93.6%となったため、S評価となった。回収率は65.4%と改善の余地があるため、利用者への呼びかけを積極的に行うよう指導した。</p> <p>◆収支状況 施設の老朽化に対応し小規模な修繕を実施する一方、その他の経費については運営努力により支出を抑えた結果、収支差額が 3,896千円となったため、A評価となった。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。今後も、施設の機能を活かし、利用者が自然にふれあう体験活動を実施できるよう事業を継続するとともに、更なる利用者の拡大に努めてもらいたい。</p>
<p>S：極めて良好な管理運営状況</p> <p>A：良好な管理運営状況</p> <p>B：一部改善が必要な管理運営状況</p> <p>C：抜本的な改善が必要</p>	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
(施設の設置目的をふまえた運営) ふれあい教育の推進を図ると共に職員の指導力、接客能力の向上、提供可能なプログラムの再考、小学校へのサービスの強化に努める。プログラムを再考し必要とされる内容を提供する。9～12月で訪問。	小学校への訪問を計画的に実施し、三浦ふれあいの村の利用に関する案内を行った。(64校実施) 特に、防災ウォークラリーやグループワークレクリエーションなど活動プログラムの説明を行い、学校教育現場が求めるプログラムの提供へとつなげた。	
(地域との連携を築く) ふれあいの村が位置する三浦市、隣接する横須賀市の住民との連携、協力を深め互いに協力する。特に、避難所としての村の存在を知っていた。11/2防災訓練実施、1/17防災講演会開催。	初声地区の地域災害訓練の会場として施設を提供した。(地域住民約200名が参加) また、三浦市との共催で防災講演会を開催した。(参加者約500名)三浦市と協力して、地域住民の防災意識の向上に寄与した。	
(国際的な活動、ボランティアの育成) YMCAのネットを生かし海外からのボランティアを招く。国際理解の講座を利用者へ開設する。大学等を訪問しボランティアの採用を積極的に推進し育成する。	台湾から招聘したボランティアに、夏期の利用者向けに台湾紹介プログラムを提供してもらい、利用者から好評を得ている。 年度当初には横須賀市、横浜市にある大学を訪問しボランティアの勧誘を展開した。登録者を対象に年6回の研修を行った。	
(施設の維持・修繕に積極的に取り組む) 老朽化が進む施設だが職員による修繕箇所の早期発見、対応を心掛ける。特に細かな部分の修繕、交換を心掛けなるべく利用者にご不便を掛けないようにする。夏期繁忙期の駐車場への誘導は特に注意して実施する。	鉄筋の爆裂、下水管の詰まり等職員が対応できない箇所は除き軽微な修繕は敏速に対応した。特に施設利用に欠かせないような箇所や安全面で問題のある箇所は早急に対応した。 また施設内の美化に配慮し、巡回時のゴミ拾い等を習慣化している。	
(職員、従業員の接客能力向上) 安くて、使いやすく、安全な施設作りを目指し利用者に快く感じていただける施設にしていく。職員による協議は月1回実施。	アンケート等からの利用者の声を生かし、ソフトの面で利便性の高い施設作りを行った。調査では職員の対応が良かったとの声を多数いただくようになった。職員が会議や研修を通じて接客能力の向上に努めた。	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
(ふれあいマリンクラブの開催) 地域の児童・生徒を対象に命の大切さ、他者との協力を理解し海の危険性、楽しさを伝える	クラブ員40名、登録ボランティア11名、職員2名で毎月1回活動した。夏期は海岸美化の活動も保護者を交えて行った。
(ちゃんちゃんクラブの開催) 大人の居場所作りとして、通年で実施(年4回開催)	大人の居場所作り、シニアボランティアの育成を目的として、施設の看板作り等の活動を行った。(延べ31名が参加) 参加者の中から主催事業のボランティアにつながる例も見られた。
(ウイークエンドファミリープログラム) ご家族で楽しんでいただける宿泊プログラムを提供(10月以降毎月実施)	冬期の利用者促進を目的に計6回開催した。(延べ230名参加) みかん狩りなど海以外の活動場所を探り、三浦半島の産業のアピールにも繋がった。
(第2回ふれあいカップの開催) 地域のスポーツ少年団への施設提供、交流を目的とし開催	参加チームの責任者等にも事前からご協力いただき、大会運営も順当に行われた。サッカーゴールを職員で作成し、参加者から好評を得た。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	〔参考〕直営／管理委託／指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	102,619	86,937	83,880	84,422
対前年度比			96.5%	100.6%
目標値	〔目標値設定根拠〕	88,000	88,000	85,000
目標達成率	前年度利用者数	98.8%	95.3%	99.3%

〔 参考：最大利用可能人数 〕

	宿泊定員				合計
定員	433				
年間利用可能日数	357				
最大人数※1	154,581	0	0	0	154,581
稼働率	70.90%	%	%	%	%

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
S	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者が施設を利用する都度、アンケート用紙を利用者に配布し、調査する	サービスの向上に努めた結果、上位2段階の割合が93.6%という高い評価を得ている。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数／配付数 623 / 952 = 65.4%

配付(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかともいえない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	247	311	36	2	0	596	
回答率	41.4%	52.2%	6.0%	0.3%			
前年度の回答数	215	336	40	0	0	591	
回答率の対前年度比	113.9%	91.8%	89.2%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
[参考] 年度計画		142,817	144,731	148,867	
指定管理料		140,610	142,451	146,451	
利用料		2,337	2,348	2,409	
その他収入		9,335	8,018	8,077	
合計	0	152,282	152,818	156,938	
対前年度比			100.4%	102.7%	
対 計画比		106.6%	105.6%	105.4%	
(2) 支出					
[参考] 年度計画		142,817	144,731	148,867	
支出額		148,745	148,732	153,042	
(内 納付金)					
対前年度比			100.0%	102.9%	
対 計画比		104.2%	102.8%	102.8%	
(3) 収支					
[参考] 年度計画		0	0	0	
収支差額	0	3,537	4,086	3,896	
対前年度比			115.5%	95.3%	
収入合計／支出合計の比率		102.4%	102.7%	102.5%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1,000千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内 容(金額)
収 入		
支 出		
積 立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。